



第21週のTopic

侵襲性髄膜炎菌感染症 滋賀県で9年ぶりに報告

国内では比較的珍しい疾患ですが、滋賀県で9年ぶりに侵襲性髄膜炎菌感染症の報告がありましたので、TOPICとして取り上げます。なお、今回報告された症例については、保健所の積極的疫学調査から、不特定多数への感染拡大の恐れは少ないと考えています。

■ 侵襲性髄膜炎菌感染症とは¹⁾

髄膜炎菌 (*Neisseria meningitidis*) という細菌による感染症です。

潜伏期間は2~10日 (平均4日)。主要症状は、突然の発熱、頭痛、意識障害、けいれん (髄膜炎症状)、紫斑 (DICによる) ですが、急激に進行し**菌血症、髄膜炎、髄膜脳炎**などを起こすことがあります。

致死率は約10% (無治療の髄膜炎は50%) で10~20%に後遺症を残します。

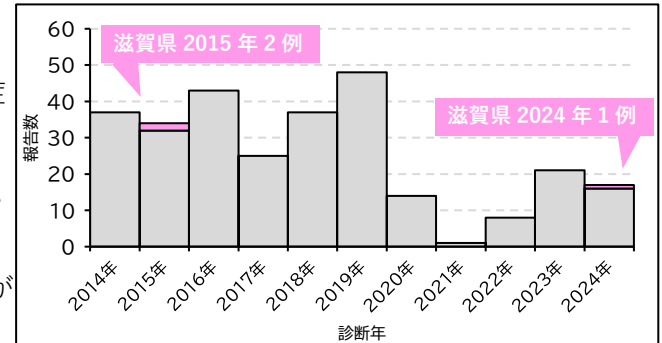
感染経路は、くしゃみなどによる飛沫を吸い込むことによって感染します。家庭内や集団生活での濃厚接触によって、集団発生することがあります。有効治療開始後24時間経過するまでは感染源となります。

■ 全国および国外の発生動向

【全国の発生動向】

国内では、2019年までは年間20-40例程度の報告がありました。2020年と2021年は新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響により報告数が減少したと考えられています²⁾。2022年以降は**増加傾向**が見られます (図1)。過去には、2015年山口県で開催されたイベントでの集団感染、2017年神奈川県内の全寮制学校での集団感染事例があります¹⁾。

図1: 全国の侵襲性髄膜炎菌感染症の発生動向(2014~2024[※]年)



※2024年は第20週時点+滋賀県1例

【国外の発生動向】

アフリカ中央部で患者数が多く、特に**髄膜炎ベルト**と呼ばれる地域 (図2) が流行地域とされています³⁾。乾期 (12月~6月) に流行が見られ、人口10万人当たりの患者数は1,000人に達します⁴⁾。

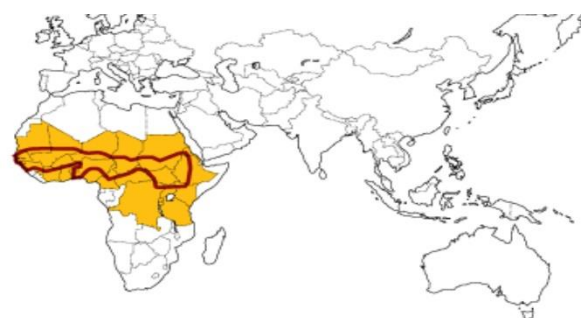
■ 予防³⁾

予防には、ワクチン接種と抗菌薬の予防内服が有効です。

ワクチンは、4価ワクチンが任意接種で接種可能です。流行地域へ渡航する場合にはワクチン接種が勧められます。

抗菌薬の予防内服は感染拡大防止措置として患者の接触者に勧奨されます。

図2: 髄膜炎菌感染症のリスクが高い国



髄膜炎菌感染症のリスクが高度の国および地域
髄膜炎ベルト地域
FORTHのHP: 髄膜炎菌性髄膜炎より抜粋

【参考文献】

- 侵襲性髄膜炎菌感染症 (一般社団法人日本感染症学会): <https://www.kansensho.or.jp/ref/d29.html>
- 感染症法に基づく侵襲性髄膜炎菌感染症の届出状況、2013年4月~2023年3月
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/bac-meningitis-m/bac-meningitis-idwrs/11976-mlst-20230419.html>
- 髄膜炎菌性髄膜炎 (厚生労働省検疫所 FORTH): <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name60.html>
- CDC Yellow Book 2024 Meningococcal Disease
<https://wwwnc.cdc.gov/travel/yellowbook/2024/infections-diseases/meningococcal-disease#800>



1. 今週の主な動向

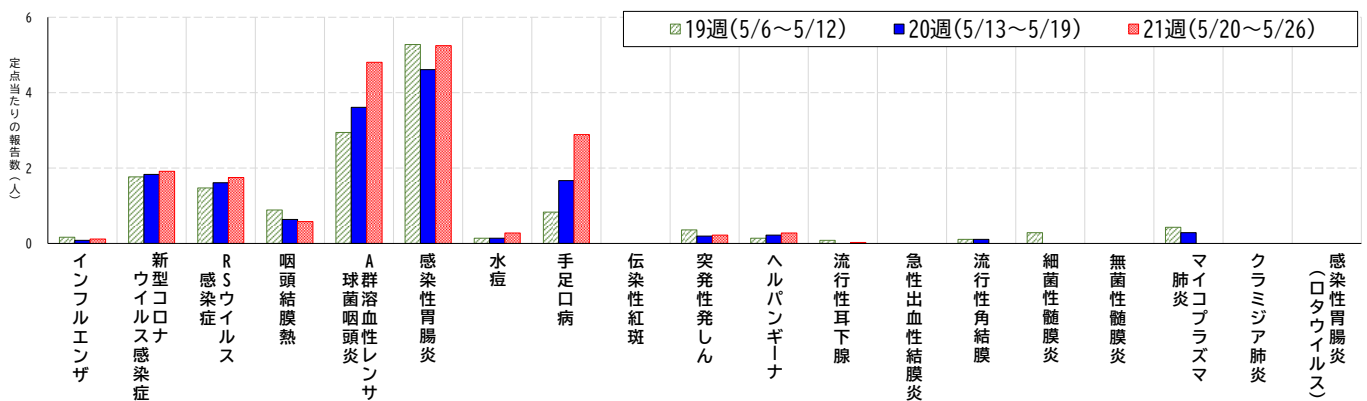
- RS ウイルス感染症は、高止まりの状態で、「例年より多く」報告されています。病原体定点では、直近の検体からも RS ウイルス (RSV-A, RSV-B)が検出されています。昨年は5月~6月にかけてピークが見られたことから、今後の動向に注視が必要です。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、前週と比べ増加し、「例年より非常に多く」報告されています。東近江、長浜保健所圏域で多く報告されており、長浜保健所圏域では警報レベルとなっています。
- 手足口病は、増加傾向にあり、「例年より非常に多く」報告されています。甲賀保健所圏域で多く報告されており、警報レベルとなっています。全国でも増加傾向が見られており、今後の動向に注視が必要です。
- 侵襲性髄膜炎菌感染症の発生が確認されました。2015 年以來の発生となります。TOPIC で取り上げています。

2. 全数把握疾患 (今週報告例)

類型	疾患	診断週	保健所(i)	年齢	性別	病型等	推定感染地	病原体等
二類	結核	21	大津市	40歳代	男	結核性胸膜炎	国外	-
三類	腸管出血性大腸菌感染症	21	大津市	50歳代	女	-	国内	O血清群不明 VT1VT2
	腸管出血性大腸菌感染症	21	草津	40歳代	女	-	県内	O血清群不明 VT2
四類	レジオネラ症	20	草津	60歳代	男	肺炎型	-	-
	レジオネラ症	21	草津	70歳代	男	肺炎型	県内	-
五類	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	21	甲賀	70歳代	男	-	県内	Enterobacter cloacae complex
	侵襲性髄膜炎菌感染症	21	草津	40歳代	女	-	県内	ワクチン接種歴 不明
	侵襲性肺炎球菌感染症	21	草津	60歳代	女	-	-	ワクチン接種歴 無
	侵襲性肺炎球菌感染症	21	甲賀	70歳代	女	-	県内	ワクチン接種歴 不明
	梅毒	20	草津	30歳代	男	早期顕症梅毒 I 期	-	-
	百日咳	21	大津市	20歳代	女	-	県内	ワクチン接種歴 不明

i. 発生届が届出された保健所を記載しています。患者住所ではありません。発生届は、全数報告の感染症を診断した医師から最寄りの保健所へ届出されます。

3. 定点把握疾患 (五類感染症) の滋賀県の推移 (今週と過去2週)



4. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報 (検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は月報・病原体情報に掲載しています。)

- 第17週、第20週、第21週採取の検体から RS ウイルス (RSV-A, RSV-B)が検出されています (RS ウイルス感染症、上気道炎)。
- 第18週、第19週、第20週および第21週採取の検体からパラインフルエンザ3型が検出されています (上気道炎、下気道炎、RS ウイルス感染症、突発性発疹)。
- 第17週、第18週、第19週、第20週および第21週採取の検体からノロウイルス GIIが検出されています (感染性胃腸炎、無菌性髄膜炎)。

(2) 定点以外の病原体検出情報 (衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報)

- 特記すべき病原体検出情報はありません。

【資料編】

1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和6年および令和5年に報告のあった疾患）^{ii, iii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			44 3.13	20 5.80	4 1.14	4 2.84	8 3.57	1 0.65	3 2.04	4 8.98	5619 4.52	124 8.80	14694 11.76
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○	○	10 0.71	3 0.87	2 0.57	0 0.00	1 0.45	1 0.65	2 1.36	1 2.25	573 0.36	38 2.70	3811 3.05
四類 E型肝炎	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 2.25	204 0.36	1 0.07	552 0.44
A型肝炎	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	63 0.36	3 0.21	55 0.04
つつが虫病			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	81 0.07	1 0.07	434 0.35
デング熱	○	○	2 0.14	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	1 0.65	0 0.00	0 0.00	69 0.06	0 0.00	175 0.14
レジオネラ症	○		10 0.71	0 0.00	5 1.42	1 0.71	2 0.89	1 0.65	1 0.68	0 0.00	622 0.50	32 2.27	2271 1.82
五類 アメーバ赤痢	○		3 0.21	0 0.00	2 0.57	0 0.00	0 0.00	1 0.65	0 0.00	0 0.00	205 0.16	8 0.57	485 0.39
ウイルス性肝炎	○		1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	72 0.06	0 0.00	242 0.19
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	○		7 0.50	3 0.87	2 0.57	1 0.71	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	707 0.57	20 1.42	2092 1.67
急性脳炎			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	234 0.19	7 0.50	643 0.51
クリプトスポリジウム症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	11 0.01	1 0.07	16 0.01
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	63 0.05	3 0.21	167 0.13
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	○	9 0.64	2 0.58	4 1.14	1 0.71	1 0.45	1 0.65	0 0.00	0 0.00	891 0.72	14 0.99	941 0.75
後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	○		3 0.21	1 0.29	1 0.28	0 0.00	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	354 0.28	3 0.21	943 0.75
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		3 0.21	0 0.00	2 0.57	0 0.00	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	257 0.21	7 0.50	559 0.45
侵襲性髄膜炎菌感染症	○	○	1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	16 0.01	0 0.00	21 0.02
侵襲性肺炎球菌感染症	○		11 0.78	4 1.16	5 1.42	1 0.71	0 0.00	0 0.00	1 0.68	0 0.00	1116 0.90	27 1.92	1959 1.57
水痘(入院例)	○		2 0.14	0 0.00	1 0.28	0 0.00	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	174 0.14	9 0.64	400 0.32
梅毒	○		20 1.42	3 0.87	9 2.56	0 0.00	3 1.34	0 0.00	5 3.41	0 0.00	4974 4.00	78 5.54	14906 11.93
播種性クリプトコックス症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	81 0.07	4 0.28	171 0.14
破傷風			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	25 0.02	2 0.14	109 0.09
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	48 0.04	2 0.14	114 0.09
百日咳			7 0.50	5 1.45	0 0.00	0 0.00	2 0.89	0 0.00	0 0.00	0 0.00	305 0.25	15 1.06	1009 0.81
麻しん			1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	22 0.02	0 0.00	28 0.02
薬剤耐性アシネトバクター感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.00	1 0.07	15 0.01

- ii. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。
- iii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値^{iv}

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別 (vii)						全国 (前週)	基準値			
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (v)	例年より 多い (vi)	例年より 非常に 多い(vi)	大津市	草津	甲賀	東 近 江	彦 根	長 浜		高 島	警報 開始	警報 終息	注意報
インフルエンザ /COVID-19 (定点数:60)	インフルエンザ	0.17	0.08	0.12				0.23	0	0.14	0.10	0.14	0.14	0	0.28	30	10	10
	新型コロナウイルス 感染症	1.77	1.83	1.92	-	○	-	3.15	1.69	1.14	1.60	2.43	0.71	2.00	3.28	-	-	-
小児科 (定点数:36)	RSウイルス感染症	1.47	1.61	1.75	-	○		1.25	1.38	0.25	4.33	1.75	1.25	1.50	1.38	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.89	0.64	0.58		○		0.13	0.50	0	2.50	0	0	0.50	0.71	3	1	-
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	2.94	3.61	4.81		○	○	3.25	3.13	3.50	7.50	5.25	9.75	1.50	4.91	8	4	-
	感染性胃腸炎	5.28	4.61	5.25		○		6.13	4.50	2.75	4.50	5.75	9.50	2.50	4.77	20	12	-
	水痘	0.14	0.14	0.28		○		0	0.38	0.50	0.67	0	0	0.50	0.16	2	1	1
	手足口病	0.83	1.67	2.89		○	○	1.75	3.38	6.00	4.17	0.25	2.25	2.00	1.49	5	2	-
	伝染性紅斑	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.04	2	1	-
	突発性発しん	0.36	0.19	0.22	-			0.38	0.25	0	0.17	0	0.50	0	0.32	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.14	0.22	0.28				0.50	0.25	0.25	0.17	0	0	1.00	0.23	6	2	-
	流行性耳下腺炎	0.08	0	0.03				0	0	0	0	0	0.25	0	0.06	6	2	3
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0.11	0.11	0				0	0	0	0	0	0	0	0.72	8	4	-
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.29	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.04	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.43	0.29	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.17	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.02	-	-	-
	インフルエンザ入院	0	0	0.29	-	○	○	0	0	1.00	0	0	1.00	0	0.05	-	-	-
COVID-19入院	1.86	1.86	1.29	-	-	-	4.00	2.00	0	1.00	1.00	1.00	0	2.75	-	-	-	

- iv. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- v. 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報(「注」)を発令します。警報・注意報のない疾患については、「-」と標記しています。
- vi. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)。
新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- vii. **赤字斜字**: 警報開始基準を超過、**紫字斜字**: 注意報基準を超過

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」: 報告なし

インフルエンザ /COVID-19定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	7	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	1
大津市保健所	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
草津保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
東近江保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
彦根保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長浜保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

インフルエンザ /COVID-19定点 (60医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス 感染症	115	2	1	2	3	2	1	-	1	1	1	-	6	5	11	15	9	10	11	18	16
大津市保健所	41	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	1	2	2	5	4	3	6	8	7
草津保健所	22	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	5	3	2	3	-	1	1
甲賀保健所	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	1	2	2
東近江保健所	16	-	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	1	1	-	3	1	1	1	1	3
彦根保健所	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	2	2	3	3	2
長浜保健所	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1
高島保健所	6	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	1	-	1	-

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

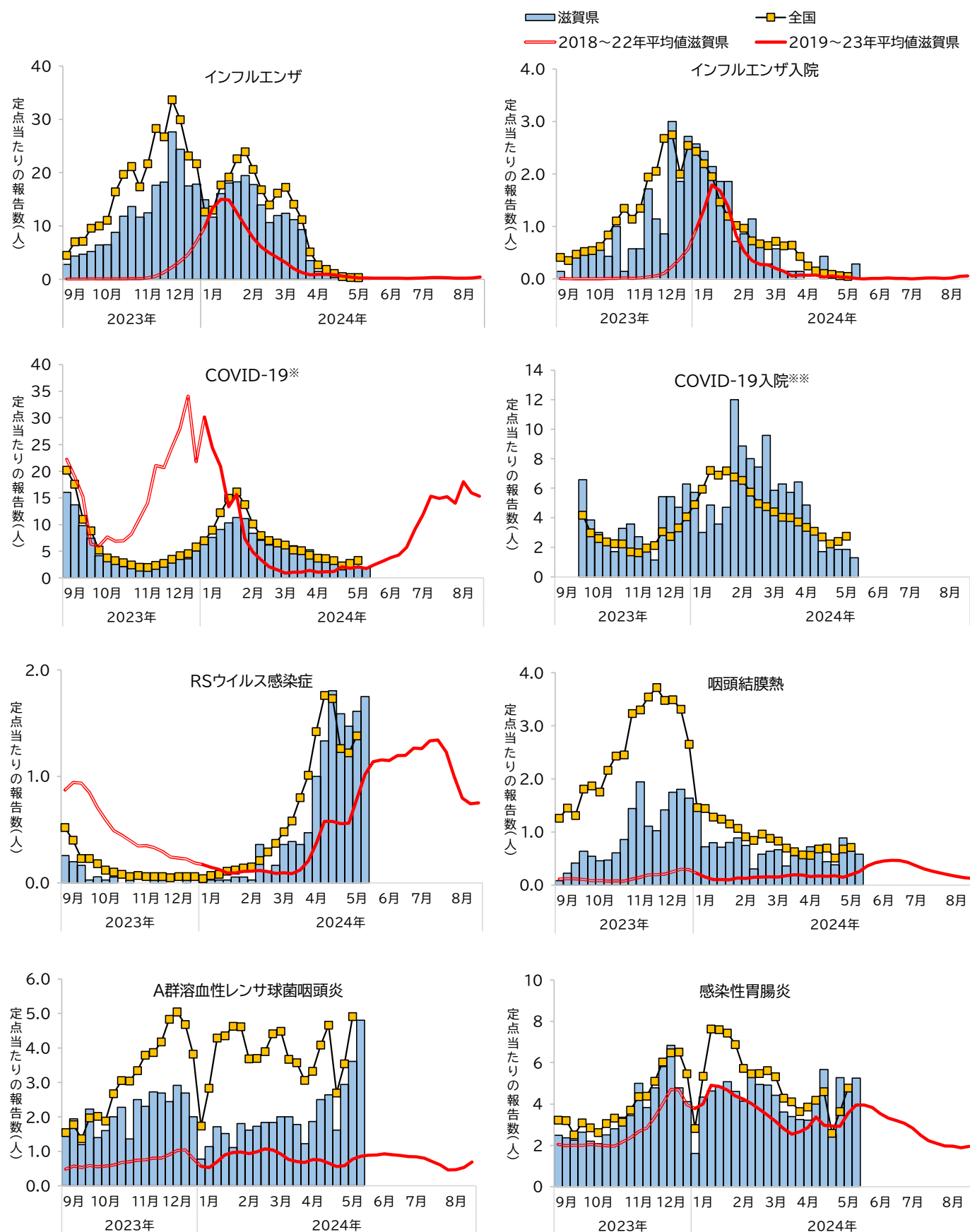
「-」: 報告なし

小児科定点 (36医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	63	14	7	23	10	3	3	2	1	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	21	-	-	-	8	2	6	2	1	1	1	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	173	-	-	10	9	14	20	20	26	10	21	12	15	-	16
感染性胃腸炎	189	-	8	13	12	15	22	18	31	15	17	7	21	1	9
水痘	10	-	2	1	-	-	-	-	2	1	1	1	1	-	1
手足口病	104	2	11	43	21	13	8	1	1	1	2	-	1	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	8	-	2	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	10	-	-	7	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

眼科定点 (9医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザ入院	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
新型コロナウイルス 感染症入院	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	4

5-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

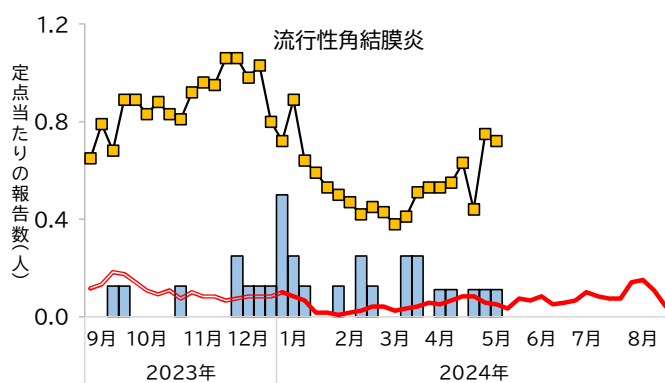
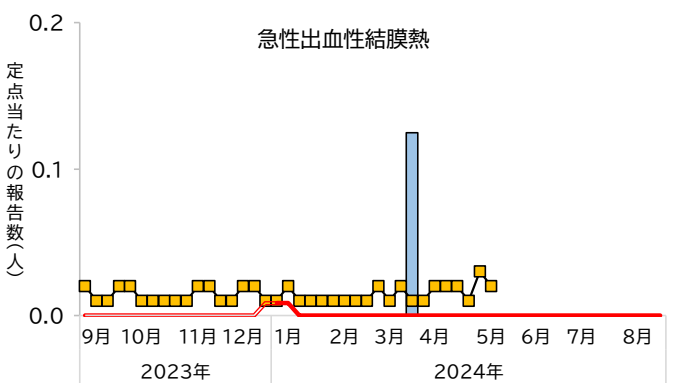
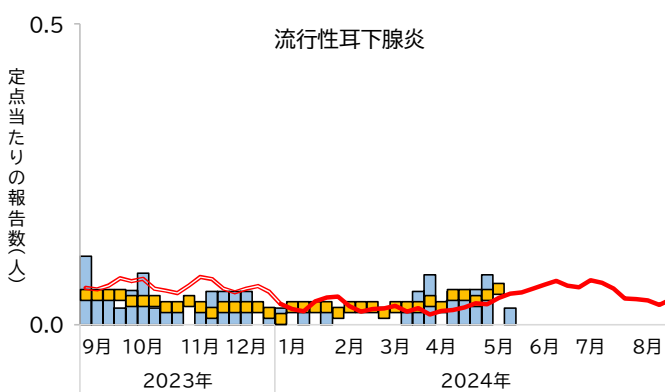
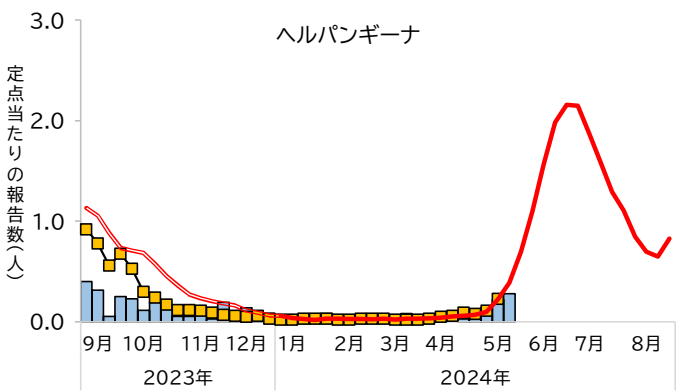
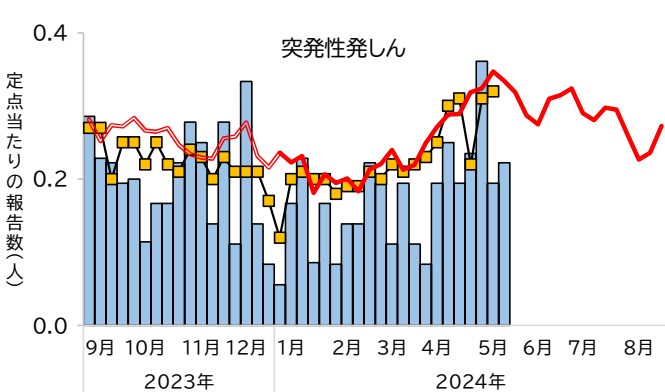
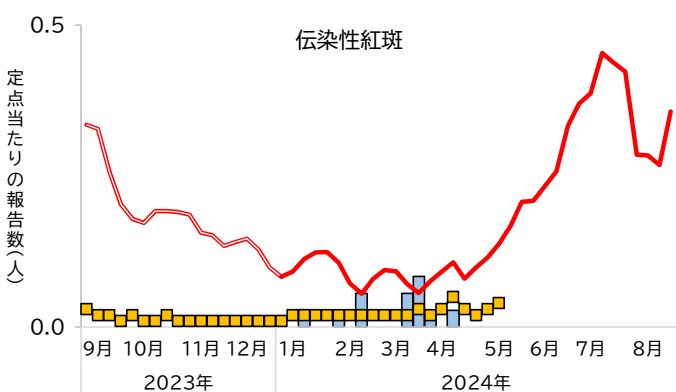
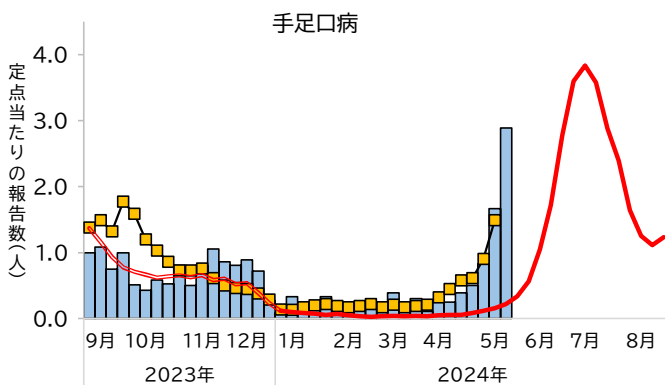
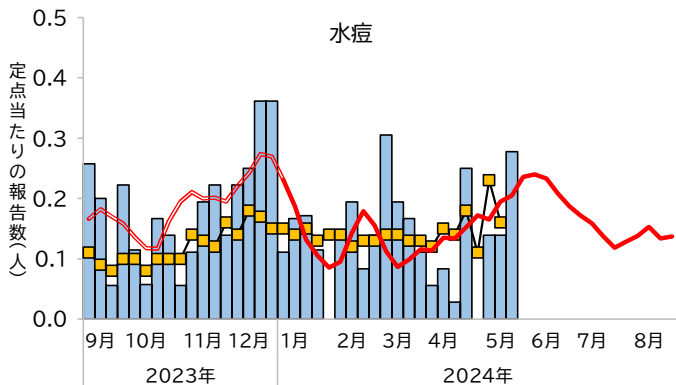


※過去5年分のデータがないため、『2018年～22年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2022年の値』、『2019年～23年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2023年の値』を掲載しています。

※※COVID-19と同様に、平均値ではなく1年前のデータを掲載する予定です。COVID-19入院サーベイランスは2023年9月(第39週)から開始されたため、2024年9月(第39週)から掲載する予定です。

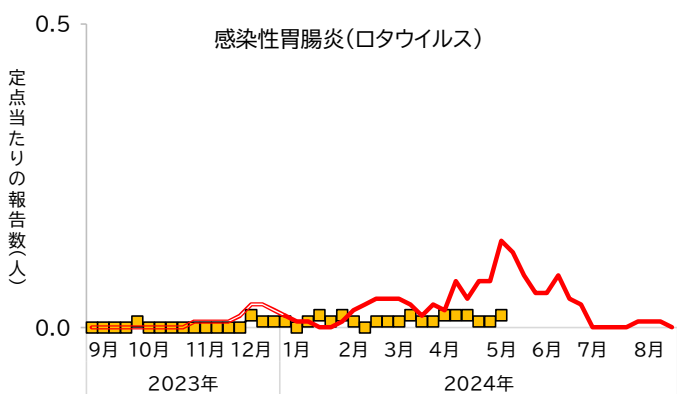
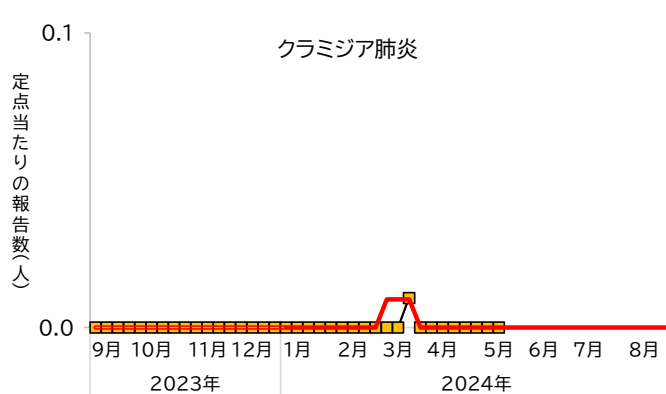
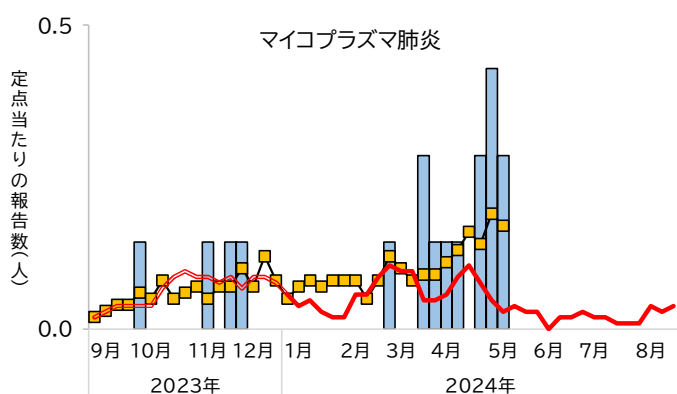
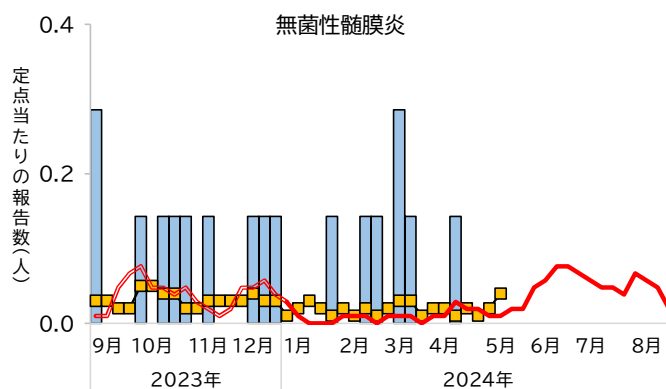
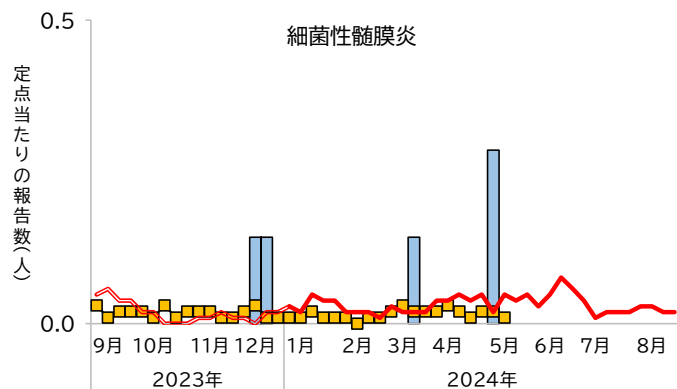
5-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国
— 2018~22年平均値滋賀県 — 2019~23年平均値滋賀県

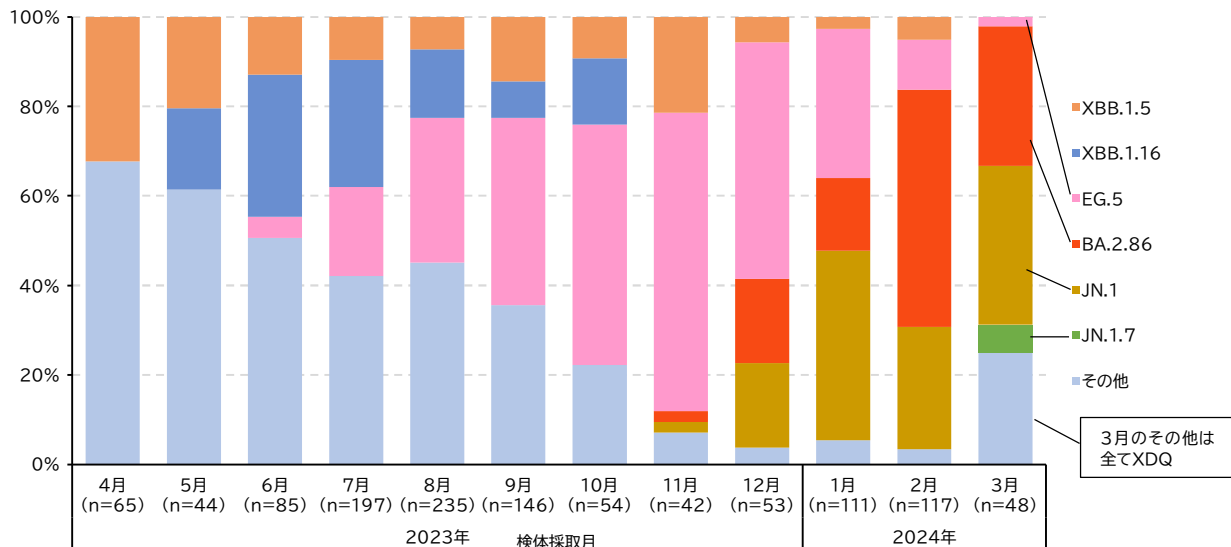


5-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

■ 滋賀県 ■ 全国
— 2018～22年平均値滋賀県 — 2019～23年平均値滋賀県



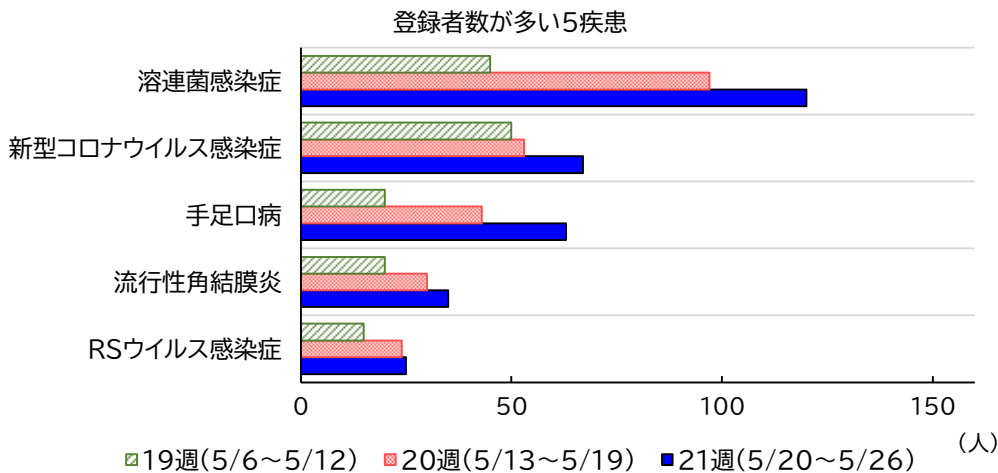
6. 【第21週更新】新型コロナウイルス感染症月別ゲノム解析結果 滋賀県（検体採取月別）



※解析結果が判明した週に更新します。直近は速報値であるため、値が変わることがあります。
 ※※WHO の分類に基づき計上しています。

7. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム (https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを集計して掲載しています。



8. 参考情報

【全国情報】

- 『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>
- 『病原体検出情報(IASR)』 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>
- 『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。
- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。滋賀県感染症情報センターHP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyu/>

